

子どもコース ニュース



第13号

日本ヴィパッサナー瞑想センター・ダンマバーヌ:京都府船井郡京丹波町八田岩上奥 ☎0771-86-0765

ダンマーディッチャ:千葉県長生郡睦沢町上之郷 785-3 ☎0475-40-3611

日本ヴィパッサナー協会

2014年4月発行

めいそう少年も参加

千葉で2回目のめいそうコース

2014年3月30日、千葉県のめいそうセンター「ダンマーディッチャ」で子ども一日めいそうコースが開催されました。

男の子4名、女の子5名のあわせて9名、全員がはじめてのコース参加でした。ほとんどは、地元の千葉県や東京都に住んでいる子どもたちでしたが、九州から参加した子どもが一人いました。この子はめいそう少年です。学校でとつぜん、目をとじてめいそうをはじめ、先生をおどろかせたことがあります。さいわい、おばさんがめいそうをしていたため、今回、正式にめいそうを学ぶために参加しました。めいそう時間中は、しっかりとすわり、質問にも、にこにこ答えて、楽しんでるようでした。

また、8さいから12さいの子どもたちが参加できるコースですが、とくべつに参加を許された子どももいます。姉二人が参加するということで、6さいの女の子が、引率の母親についてきたのですが、

とくべつにめんだんをして、その子どもに参加できることになったのです。

めいそうの時は、少しきんちょうも見られましたが、指導のことはよく聞いて、先生の質問にも、はきはきと答えていました。めいそうがおおると、うれしそうにおどりだして、お姉ちゃんに注意される場面もありました。

このコースにはめいそうの国、インドの子どもも二人参加しました。二人ともしっかりとすわっていました。

一日コースでは、4回のめいそうのほかにお話しし時間や創作の時間があります。

この日の創作の時間では、ダンボールで写真立てを作りました。めいそうしながらのせいでしょうか、みんな、すばらしい集中力で、それぞれの作品を仕上げていきます。折り紙をはったり、シールをはったり。みんな好きな色をえらびますが、それがみごとに違う色です。みじかい時間でつくったとは思えないほど、個性的で、すてきな写真立てができあがりました。

世話役のみんなも夢中になって取り組んでいました。

さいごのめいそうがおわり、お楽しみのおやつ時間。子どもたちは、お母さんやお父さん、おじさんやおばさんにあえて、にこにこ。

ずっと雨がしとしとふっていたのに、コースがおおると同時にお日様が顔をだしました。霧雨の中に見える太陽。まるで、光のシャワーのように見える雨のなか、子どもたちと引率の保護者の方々は、センターを後にされました。

ダンマーディッチャ(ダンマの太陽)という名のセンターにふさわしい光景で、2回目の子どものコースは終了しました。みんなが幸せでありますように。

みんながここで学んだことを活かして、生きていけますように。そして友だちや家族にも幸せがひろがっていきますように、と祈りながら、世話役も指導者も、手を振って、見送りました。



ビーハッピー!